



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2138 URL <https://crooz.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者CFO (氏名) 関本 清高 (TEL) 03-6387-3622
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,543	3.2	△413	—	△362	—	△285	—
2024年3月期第1四半期	3,432	△7.1	271	10.0	461	65.1	393	133.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △206百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 475百万円(271.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△27.85	—
2024年3月期第1四半期	35.34	34.42

(注) 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	26,552	10,334	38.3
2024年3月期	27,084	10,808	39.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 10,175百万円 2024年3月期 10,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—				
2025年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

2025年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	12,957,600株	2024年3月期	12,957,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,856,685株	2024年3月期	2,496,485株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	10,254,789株	2024年3月期1Q	11,122,418株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は「20XX年までに時価総額1兆円以上」という超長期的目標を掲げ、2018年5月10日をもって全ての事業を子会社化し、純粋持株会社となりグループ経営へと移行しております。この超長期的目標を最速で実現するべく、次世代の事業と経営者の誕生と成長、永遠のベンチャースピードを手に入れるための仕組み「CROOZ永久進化構想」を活用し、より多くの起業家を育成し、『SHOPLIST.com by CROOZ』（以下、SHOPLIST事業）を軸に、ショッピングやゲームなどのエンターテインメント領域を中心に、常に時代の変化に合わせて幅広くインターネットサービスを展開してまいります。

SHOPLIST事業のおかれるアパレルEC（BtoC）市場は、2022年に約2.5兆円に到達しており、前年から約1,220億円拡大しております（注1）。

一方で、当該成長市場においてSHOPLIST事業は、前年同四半期と比較して取扱高は維持できたものの、依然として油断のできない厳しい状況は続いていると感じております。引き続き訪問者数減少の根本改善はできておらず、SEOや広告経由での訪問者数が減少しております。アパレルEC市場における競争が増えたことで、集客の難易度が以前にも増して高まっている点が否めません。現状の延長線上でSHOPLIST事業の訪問者数や取扱高及び売上高を完全に回復するには、抜本的な集客方法の見直しが必要であると考えており、取扱高及び売上高を再度成長軌道に乗せていくための施策に注力してまいります。

また、今後は新規事業であるGameFi分野に注力してまいります。競争が多い状況でもあるため現時点ではゲーム単体の収益等は非開示とさせていただきます。GameFi事業を担当するCROOZ Blockchain Lab株式会社の当第1四半期連結会計期間の売上高は240,502千円、営業損失381,953千円となりました。当第1四半期連結会計期間で営業損失となっている主な要因は、『PROJECT XENO』が2024年5月の1周年セールは好調だったものの2024年4月および6月の売上が低調だったこと、および『エレメンタルストーリーワールド』の売上が伸び悩んだことと、第三弾のブロックチェーンゲームである『エルゴスム』のリリース前追い込みで開発原価が増加したことによりります。

個別のゲームの状況については、『PROJECT XENO』はユーザーの皆様へ支えられ、2024年5月には無事リリース後1周年を迎えることができました。また、先日1周年記念として開催したイベントでも多くのユーザー様にご来場いただき、大きな盛り上がりとなりました。ユーザーの皆様のご期待に応えるべく、私達は『PROJECT XENO』をユーザー様にとってより遊びやすく、より面白いゲームにするよう、今後も注力してまいります。

第二弾のブロックチェーンゲームである『エレメンタルストーリーワールド』につきましては、正直売上は伸び悩んでおり、『PROJECT XENO』のような売上・利益貢献には至らず、思うような結果が出ておりません。その一方で、第三弾の『エルゴスム』につきましては鋭意開発中ですが、『PROJECT XENO』とは違った新しい要素をふんだんに盛り込んだゲームとなっておりますので、売上・利益に寄与してくれることを期待しています。今後の予定については適宜プレスリリースなどで発表していく予定です。

メディア事業については、事業の核となる『ランク王』は当第1四半期連結会計期間の売上高は183,821千円（前年同四半期比78.7%）、営業利益が16,886千円（前年同四半期比26.6%）となりました。前年同四半期比で売上および利益とも下回り、思うような結果になりませんでした。

今後の主軸として注力する事業はGameFi分野もそのひとつですが、あくまでもいくつか進めている注力分野の一部に過ぎず、GameFi分野以外にも既存事業とは異なる全く新しい新規事業領域で、新たな収益源を作る動きを進めております。

以上の結果として、経営上の目標を判断するための客観的な指標等である連結取扱高は6,226,220千円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,543,366千円（前年同四半期比3.2%増）、営業損失413,344千円（前年同四半期は営業利益271,050千円）、経常損失362,240千円（前年同四半期は経常利益461,804千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失285,640千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益393,064千円）となりました。

（注1）2023年8月31日経済産業省「令和4年度電子商取引に関する市場調査報告書」を基に記載しております。

セグメントごとの経営成績の状況を示すと次のとおりであります。

① EC事業

売上高は1,819,317千円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益は32,880千円（前年同四半期比23.3%減）となりました。

② GameFi事業

売上高は564,787千円（前年同四半期比40.0%減）、セグメント損失は327,414千円（前年同四半期はセグメント利益278,909千円）となりました。

③ メディア事業

売上高は183,821千円（前年同四半期比21.3%減）、セグメント利益は16,886千円（前年同四半期比73.2%減）となりました。

④ その他事業

売上高は975,440千円（前年同四半期比50.1%増）、セグメント損失は135,697千円（前年同四半期はセグメント損失113,636千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、投資不動産の増加1,139,634千円、流動資産のその他に含まれる前渡金の増加416,685千円及び投資有価証券の増加213,292千円などがあつた一方で、現金及び預金の減少2,545,545千円などにより、26,552,743千円（前連結会計年度末比531,342千円の減少）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、長期借入金の増加812,768千円などがあつた一方で、未払法人税等の減少512,716千円及び社債の減少500,000千円などにより、16,218,040千円（前連結会計年度末比57,305千円の減少）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、自己株式の増加267,122千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上285,640千円などにより、10,334,703千円（前連結会計年度末比474,037千円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績予想を開示しておりましたが、当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、当第2四半期以降の業績予想の開示を見合わせることにいたします。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,856,318	10,310,772
売掛金	3,136,332	3,168,743
商品	309,106	429,429
その他	734,094	1,231,735
流動資産合計	17,035,850	15,140,680
固定資産		
有形固定資産	600,702	588,757
無形固定資産		
ソフトウェア	185,204	167,497
無形固定資産合計	185,204	167,497
投資その他の資産		
投資有価証券	4,909,257	5,122,550
投資不動産	3,559,866	4,699,500
その他	704,730	750,291
投資その他の資産合計	9,173,854	10,572,342
固定資産合計	9,959,761	11,328,597
繰延資産		
社債発行費	88,472	83,464
繰延資産合計	88,472	83,464
資産合計	27,084,085	26,552,743
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,661,904	1,842,001
未払金	1,326,659	1,133,295
未払費用	437,002	436,750
未払法人税等	535,861	23,145
その他	2,475,040	2,593,644
流動負債合計	6,436,468	6,028,837
固定負債		
社債	7,000,000	6,500,000
長期借入金	2,658,964	3,471,732
繰延税金負債	28,545	29,940
その他	151,366	187,529
固定負債合計	9,838,877	10,189,202
負債合計	16,275,345	16,218,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,163	460,163
資本剰余金	1,413,903	1,413,903
利益剰余金	11,450,334	11,164,694
自己株式	△3,248,240	△3,515,362
株主資本合計	10,076,161	9,523,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	577,150	658,518
為替換算調整勘定	△7,303	△6,619
その他の包括利益累計額合計	569,846	651,898
新株予約権	10,291	10,299
非支配株主持分	152,441	149,106
純資産合計	10,808,740	10,334,703
負債純資産合計	27,084,085	26,552,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,432,266	3,543,366
売上原価	1,731,999	2,167,968
売上総利益	1,700,266	1,375,398
販売費及び一般管理費	1,429,215	1,788,743
営業利益又は営業損失(△)	271,050	△413,344
営業外収益		
受取利息	18,675	21,240
為替差益	4,577	3,115
投資事業組合運用益	208,709	50,623
賃貸収益	—	48,305
その他	2,486	7,635
営業外収益合計	234,450	130,920
営業外費用		
支払利息	7,251	21,085
持分法による投資損失	26,572	16,336
社債発行費償却	5,007	5,007
賃貸費用	—	25,829
その他	4,865	11,555
営業外費用合計	43,696	79,815
経常利益又は経常損失(△)	461,804	△362,240
特別利益		
関係会社株式売却益	219,805	—
特別利益合計	219,805	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,024
事業譲渡損	3,936	—
その他	0	81
特別損失合計	3,936	1,105
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	677,673	△363,345
法人税、住民税及び事業税	287,287	18,753
法人税等調整額	—	△93,124
法人税等合計	287,287	△74,370
四半期純利益又は四半期純損失(△)	390,386	△288,975
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,678	△3,334
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	393,064	△285,640

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	390,386	△288,975
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	87,830	81,368
為替換算調整勘定	△3,030	683
その他の包括利益合計	84,799	82,052
四半期包括利益	475,185	△206,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	477,864	△203,588
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,678	△3,334

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	EC事業	GameFi事業	メディア事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,607,824	940,873	233,650	2,782,348	649,917	3,432,266	—	3,432,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	100	100	139,212	139,312	△139,312	—
計	1,607,824	940,873	233,750	2,782,448	789,129	3,571,578	△139,312	3,432,266
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	42,844	278,909	62,933	384,687	△113,636	271,050	—	271,050

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてグラハム株式会社が営む事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	EC事業	GameFi事業	メディア事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,819,317	564,787	183,821	2,567,926	975,440	3,543,366	—	3,543,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	153,309	153,309	△153,309	—
計	1,819,317	564,787	183,821	2,567,926	1,128,750	3,696,676	△153,309	3,543,366
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	32,880	△327,414	16,886	△277,647	△135,697	△413,344	—	△413,344

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてグラハム株式会社が営む事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
減価償却費	55,741千円	54,995千円